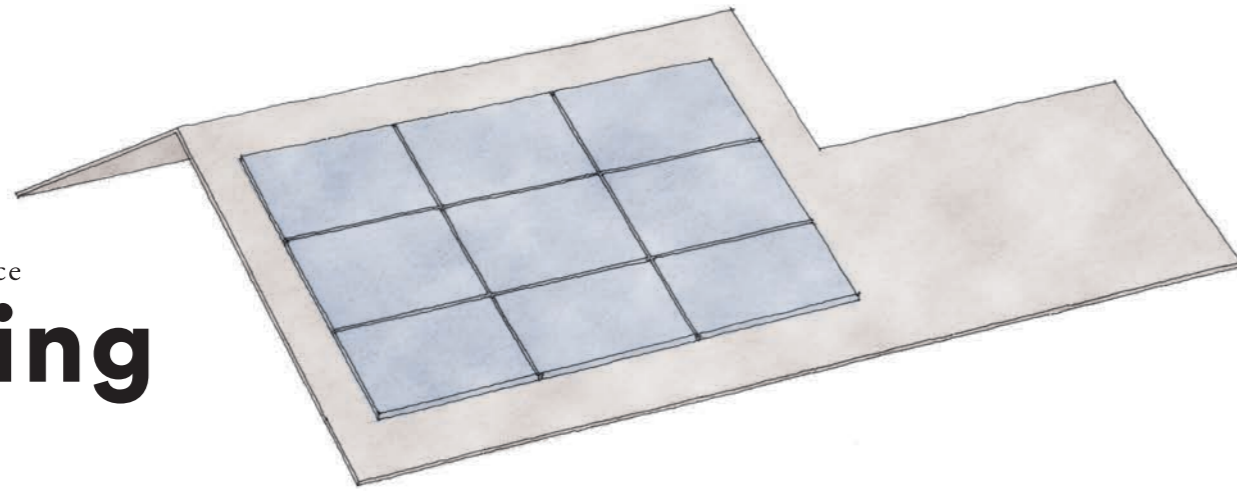


Design of MasterPiece

Planning



ウォークインクローゼット

実はデッドスペースが生まれやすく、収納率は低くなりがち。収納したいモノや、着替え・メイクにも使うかなど、よく考えておくことが肝心。布団など季節物の収納にも。

ホール収納

2階にも移動しやすい位置にあるから手前側に掃除機などのお掃除道具。奥側にはあまり使わないモノをストック。階段下を有効活用する方法としても効果的。

玄関

ご家族人数分の靴や傘はもちろん、外でよく使うお掃除道具や日曜大工道具、アウトドア用品、ベビーカーなどを。収納したいモノはライフスタイルやライフステージによって大きく変わるスペース。

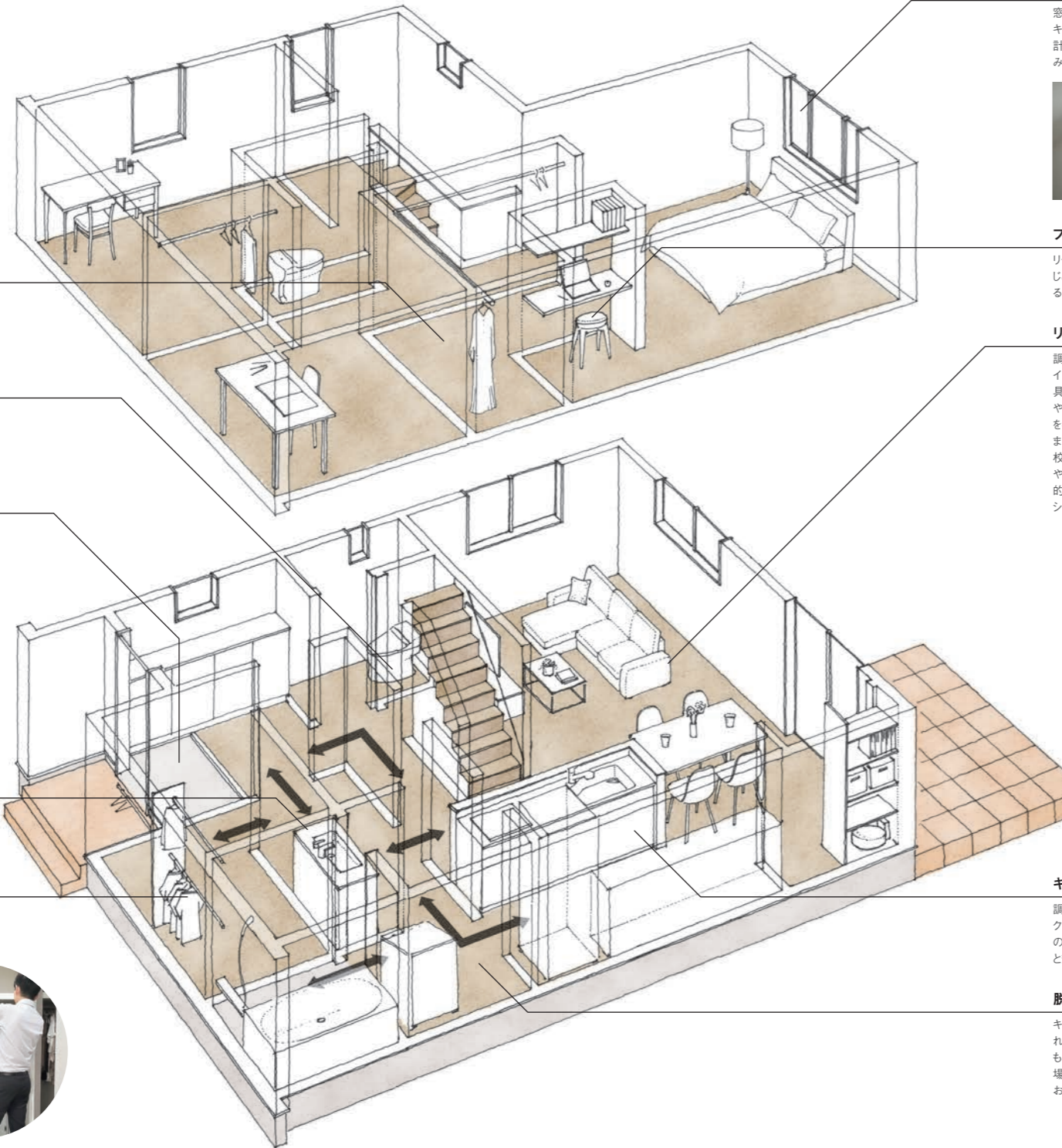


洗面室・家事室

玄関近くにあると、帰宅後すぐの手洗いうがい習慣に。広くスペースをとって室内干しやアイロンがけにも。

ファミリークローク

2階につくられることが多いクロークを1階につくると、洗濯→収納→身だしなみ→外出がとてもスムーズに。帰宅後もここで部屋着にお着替え。



たてすべり出し窓

窓が外側に開き、外壁沿いに流れる風をキャッチ。また風の出口となる窓やドアを計算して設けることで、風を室内に呼び込み、風の通り道をデザイン。



フレキシブルコーナー

リモートワークにも使える書斎コーナーをはじめ、ライフスタイルに合ったスペースがあると暮らしが豊かに。

リビング・ダイニング

調えるのは、ソファやダイニングセットなど、インテリアティストの基本となる大きな家具。好みやライフスタイルに合わせて広さや家具のサイズも配慮が必要。バランスを考えたプランをご提案。また、お子さまが小さいうちはおもちゃや学校の道具を仕舞える収納があると、遊びや宿題のときにも目が届くので安心。将来的には思い出の品の保管や趣味のコレクションなど使い方はいろいろ。



キッチン

調理家電や食器・カトラリー、食品のストックなど、収納物が多いスペース。また家事の中心として洗面室や浴室の近くにあると効率的に。

脱衣室

キッチンと浴室の間に設ければ、調理の合間の洗濯も効率的。洗濯物を干す場所や収納場所を考えるとポイント。



家族の時間を効率化する“家事動線”

家事は毎日休みのないもの。だからこそ、間取りを工夫して効率的な動線もプランニング。

ひとつひとつはほんの僅かな差でしかないかもしれませんが、それが積み重なって、

慌ただしい朝も、疲れて帰宅したときも、気持ちにゆとりが生まれます。

そのゆとりは、またひとつ物語の一片が生まれる家族の時間。

家に合わせた暮らしではなく、暮らし方に合わせた家づくりをお届けします。

量も質も、30年後も見据える“収納計画”

物語が進むにつれ、思い出が重なるにつれ増えていくモノ。

暮らしを豊かで便利にするモノ、いざという時のために備えておくモノ、

新しく思い出をつくる趣味のモノ、昔の記憶を蘇らせてくれる、どうしても捨てられないモノ…

だからと言って、やたらと収納スペースは増やせるものではありません。

家事動線や将来的なライフステージの変化も見据えた、適材適所の収納が重要です。

季節と時の風を肌を感じる

時が移ろうように、風もまた向きや強さを変え、表情を変え、物語を演出します。

そして家が建つ地勢、さらには窓の位置や大きさ、形によっても暮らしに流れる風は変わります。

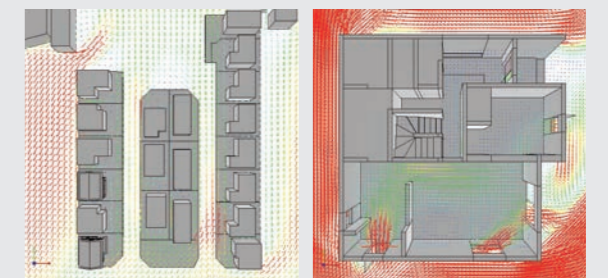
自然の風をうまく取り入れて心地よく。時には遮ることで快適に。それぞれのお部屋に応じて、

土地や季節ごとの風をとらえるウィンドキャッチ技術で最適なプランをご提案します。

通風環境デザイン(ウィンドキャッチ技術)

地域・季節・時間帯で異なる風の向きや強さのデータから、暮らしに風を効率よく取り入れることができる窓の位置やカタチを設計。風の出入り口をつくることで風が居室を通り抜け、換気効果はもちろん涼感を得られることで快眠や省エネにもつながります。

■東広島市西条町寺家の気流フロー



[区画単位] 1階フロア+1200mmレベル

[戸建単位] 1階フロア+1200mmレベル